

1 家庭科を学ぶねらい

- ・生活の自立に必要な衣食住・消費生活に関する基礎的な知識と技能を習得すること。
- ・実践的、体験的な学習活動を通して、生きる力を身につけ今後の生活に生かすことができるようになること。

2 学習方法

授業を受ける準備を休み時間に行い、集中して授業を受けられる環境を作りましょう。

① 座学のとき

教科書・ワーク・プリントを中心に基礎的基本的な知識を身につけます。

- ・授業中は、先生の話や周りの人の発言をしっかり聞き、自分の学びに生かすこと。
- ・発言する場合は、手を挙げて発言すること。
- ・プリントやワークは、記入もれのないよう埋め、その他メモしたいことがあれば積極的にプリントへメモをすること。

② 実習のとき

製作の作業を確認し、自分の力で進めていきます。作業後にはその日の振り返りを行います。

- ・製作の際には安全に気をつけて作業を進めること。
- ・準備は授業が始まる前までに行い、片づけは周りをみて丁寧に行うこと。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

教科書、ワーク、ファイル

- ※作品製作をする時には、裁縫道具等を使用します。
- ※すべての持ち物に関して、紛失防止のため貸し借りは禁止。
- ※忘れ物をしないように気をつけましょう。
- ※万が一忘れ物をしてしまった場合は、必ず教科担任に報告に来てください。

4 学習の評価内容と評価方法

①「知識・技能」

【定期考査・小テスト・作業手順の正しさ・用具や機械の使い方や片付け方・作品の完成度・実技テスト】

②「思考・判断・表現」

【課題レポート・作品の工夫・プリント・振り返りの記入内容・定期考査】

③「主体的に学習に取り組む態度」

【ワーク・プリント・課題プリントやレポート】

5. 先生からのアドバイス

- ・授業中は、積極的に発言し、意欲を出して取り組みましょう。
- ・課題は、期限を守って提出しましょう。
- ・実習中は安全に配慮して、意欲的に取り組みましょう。
- ・あきらめずに最後まで作品を完成させましょう。

6 家庭科 1 年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 ～ 7	<p>[家族・家庭生活]</p> <p>[衣生活と自立]</p> <p>1. 持続可能な衣生活</p> <p>2. 目的に応じた衣服の選択</p> <p>3. 日常着の手入れと保管</p> <p>[生活を豊かにするものの製作]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や地域とのかかわり ・家族・家庭の機能と家庭を支える社会 ・自分らしく目的に合わせた着方ができるようになる。 ・衣服の働きを知る。 ・衣服計画と選び方を学ぶ。 ・衣服についての汚れと手入れの方法を知る。 ・繊維の種類と特徴について学ぶ。 ・取り扱い表示に合った衣服の選択ができるようにする。 ・基本的な縫い方を学ぶ。 <p>*アイロンのかけ方 *エコバック製作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワーク ・プリント ・小テスト ・定期考査 ・ハンドノート ・課題 ・発言や意見
2	9 ～ 12	<p>[生活を豊かにするものの製作]</p> <p>[住生活と自立]</p> <p>1. 住まいのはたらきとこころよさ</p> <p>2. 安全な住まいで安心な暮らし</p> <p>3. 持続可能な住生活</p>	<p>*エコバック製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの働きを知る。 ・住まいの安全対策を考え、災害への備えを考える。 ・室内環境を考えて、快適な住まいになるように工夫する。 ・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワーク ・プリント ・作品 ・実技テスト ・小テスト ・定期考査 ・ハンドノート ・課題 ・発言や意見
3	1 ～ 3	<p>[消費生活・環境]</p> <p>1. 家庭生活と消費</p> <p>2. 購入・支払いと生活情報</p> <p>3. 消費者被害と消費者の自立</p> <p>4. 持続可能な消費生活</p> <p>[食生活と環境]</p> <p>日本の食文化を知ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物資とサービスの特徴がわかり、消費生活のしくみがわかる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・日本の伝統的な食文化を知り、その文化を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワーク ・プリント ・定期考査 ・レポート ・ハンドノート ・課題 ・発言や意見